

君の想いを“カタチ”に!



# 令和3年度 赤い羽根共同募金

## 募金箱デザインコンテスト 作品募集



昨年度の受賞作品です。



### 1. テーマ

次世代を担う中学生に、募金箱に取り付けるデザインの製作を通して、地域福祉を支える赤い羽根共同募金の趣旨や、募金の使い道を学ぶ機会とします。

### 2. 応募にあたって

令和2年度は、西区全体で 568点の作品の応募があり、入賞作品は、区内の学校や商業施設、地域福祉センター等において、募金箱で活用されました。

また、お寄せいただいた募金は、西区の高齢者や障がい者、子ども、地域交流、災害支援などのために役立てられました。

### 3. 作品規定

- ①《応募用紙:デザインシート》にデザインを描いてください。
- ②規格：縦9cm×横19.5cm
- ③画材：自由
- ④作品は平面に限ります。

### 4. 各賞及び賞品

入選は50作品

【中学校の部】

最優秀賞 4作品 / 優秀賞 18作品

【特別支援学級・特別支援学校の部】

最優秀賞 1作品 / 優秀賞 7作品

※入選者50名には、賞状と副賞を贈呈いたします。

※応募者全員に参加賞を贈呈いたします。

※「最優秀賞」受賞者5名は、10月2日(土)に開催予定の「西区健康・福祉フェア」にて、表彰を行います。

### <注意事項>

- 作品は、未発表のオリジナルに限ります。(既成のキャラクターを使った作品は審査の対象になりません)
- 応募された作品はご返却できません。作品管理は、当会で行います。あらかじめご了承ください。
- 作品には、生徒の学校・学年・氏名が一緒に展示されます。
- 応募された生徒の個人情報、本コンテストの事業の範囲内で利用し、それ以外の目的では使用いたしません。
- ご応募いただいた作品は当コンテストに関する印刷物・報道・ホームページ、その他関連制作物などに使用することがあります。不特定多数の方々に公開することについて問題がないか、応募された生徒と保護者の方々に十分ご確認くださいませようお願いします。



過去の受賞作品や要項、デザインシートなどはこちらの二次元コード 西区社協HPをご覧ください。



### スケジュール

9月3日(金)	作品応募締切(必着)
9月中旬	作品の審査
10月2日(土)予定	優秀賞の表彰
10月~3月	作品の展示・活用



【お問い合わせ・作品提出先】

神戸市西区社会福祉協議会

(担当:長友・柁一)

TEL : 929-0001 (内線298) FAX : 924-3170

住所 : 〒651-2195

神戸市西区玉津町小山180-3 西区役所4階

E-mail : info24@nishiwel.or.jp

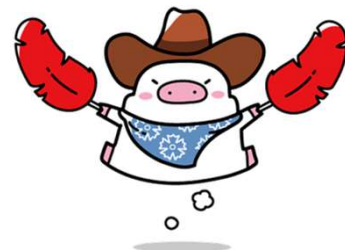
主催：社会福祉法人神戸市西区社会福祉協議会

協賛：株式会社サクラクレパス

社会福祉法人兵庫県共同募金会神戸市西区共同募金委員会



# 赤い羽根共同募金について



©2013 kobe cityR3-001

## 共同募金のルーツ

共同募金のルーツは、はるか昔のスイスの山深いまちにあります。まちには、その日に食べるものもない人たちがいて、教会の牧師さんは心を痛めていました。ある日、牧師さんは道ばたに箱をおきました。その箱には、「あたえよ とれよ」と書かれていました。「食べ物が足りていて、誰かに分け与えることができる人は、箱に食べ物やお金を入れなさい。」「今日、食べる物にも困っている人は、箱から食べ物やお金をもらっていきなさい。」

この箱は、現在の募金活動にもつながる、次の3つのキーワードで成り立っていました。一つめは、「匿名(とくめい)」です。決められた誰かを助けるのではなく、助けを必要とするみんなのためにあたえたのです。あたえる人も、自分が誰なのかをあきらかにしなくてもかまいません。二つめは、「任意(にんい)」です。あたえる人も、とる人も、参加するのは自由です。そして三つめは、「信頼(しんらい)」。道ばたに箱があれば、どろぼうにとられたり、うそついて持って行ってしまう人もいたかもしれません。だけど、まちの人たちがこの箱の意味をわかって、本当に必要な人のためのものなんだと、お互いに信頼し合っていたからこそ、成り立ったしくみでした。

日本では、戦後間もない昭和22年(1947年)から赤い羽根共同募金運動がスタートしました。

## 共同募金のしくみ

私たちの住む町には、お年寄りや障がいのある人、子育て中の人など、暮らしていくのに助けが必要な人たちがいます。

みんなが暮らしやすくなるお手伝いをするために、みんなでちょっとずつ助けあう。それが『赤い羽根共同募金』です。

助けが必要な人たちのために、いろいろなボランティア団体などが活動しています。活動に必要なお金を一人で出すのは大変なことだけど、みんなでちょっとずつ寄付すれば、より多くのお金が集まって、たくさんの方が活動にかかわることが出来ます。また、ボランティア団体などがバラバラに募金活動をする、どこへ寄付すればよいか迷ってしまうので、『共同募金』としてまとめて募金活動をして、共同募金委員会から必要なところへ助成(配分)をしています。

募金の期間は毎年10月から翌年3月までです。

みなさんの描いた  
デザイン募金箱で  
募金活動に  
協力しよう！



もっと詳しく知りたい人はこちらの二次元コードをご覧ください。

参考：中央共同募金会『赤い羽根共同募金』ホームページ

